

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人愛輪学園 鹿浜愛育幼稚園

1. 教育方針・目標

【教育方針】

どんな環境にも適応できる強い意志と創造力を持った人間の基礎は、幼児期に育まれます。本園は、幼児の生活を尊重しつつ、幼児が真に生き生きと意欲的に活動できる環境を整え、健全な心身の発達を助長する教育に努めてまいります。また、すべての命ある物に対して思いやりの心を持つ（生命尊重）ことで、感謝や反省の心を育てます。そして、園の内外を問わずに家族や時には地域の人と共に参加する行事を通して正しい生活をおくり、人格の形成をはかります。また、生きる力をつけるために、体育活動を通して心と体を鍛え、音楽指導により、音楽を通して情操豊かな感受性を育て、協調性と一人ひとりのがんばる力を養います。

【教育目標】

- 喜んで集団生活に参加し、自主性を育てる
- 優しい思いやりのある心を育てる
- 健康で安全な基本的生活習慣を養う

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

1. 喜んで園生活を送り、友達や先生との関わりの中で様々なことに興味や関心を持つ。
2. 身近な動植物に親しみをもち大切にする。また、収穫の喜びを友達や家族の方と分かち合う。
3. 身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄、手洗い、うがい、消毒など生活に必要なことができるようになる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1.	人間関係	各クラス目標を定めることにより、意欲的に園生活を送ることができた。
2.	自然	ジャガイモの種芋植え、収穫。さつまいもの苗植え、収穫の経験ができた。
3.	保育内容の向上	英語ネイティブ講師による歌やゲームを通して、英語に親しみ協調性や思いやりの心を育むことができた。

4. 学校関係者評価の具体的な目標の総合的な評価結果

学校関係者評価を行うことで、教職員の創意工夫が多く見受けられるようになる。そのことにより、子ども達の健全な心身の発達に良い影響がみられる。自ら考え行動し、友達との関わりもより活発になり、園での生活や行事などに積極的に参加できるようになる。今後も学校関係者評価の充実を図りたいと考えている。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1.	園生活の充実	マスクの着用制限も少しずつ減らすことができました。今後は人の表情を汲み取り行動する力をつけていき、日常生活においても制限のない園生活を過ごしたい。
2.	園行事のあり方	コロナ以前に制限なく出来ていた行事を、分散して行うなど工夫しながら少しずつ戻す事が出来ました。今後は共働きの家庭が多い中での園行事のあり方を考え、時間帯や日程なども工夫しながら子供達、保護者、職員が楽しんで充実した園行事になるように心掛ける。
3.	感染予防対策	引き続き感染予防対策を行いながら、手洗い、うがい、消毒、必要に応じてマスクの着用など、身の回りの基本的な生活習慣を身につける。

6. 学校関係者の評価

コロナ以前の行事や保育に少しずつ戻り、参加することができました。分散して行事を開催したりと、工夫しながら少しずつコロナ以前の幼稚園に戻ってきていると感じました。昨年度同様に、園のホームページやInstagramなどで子ども達が楽しそうに活動している様子を拝見できました。今後も引き続き情報の公開を積極的に行っていただくことにより、園・保護者・地域が一体となって子ども達の成長を見届けていけたらと思います。

学校関係者評価委員

山上 恵美子



学校関係者評価委員

白羽 愛



学校関係者評価委員

石鍋 一男



委員会実施日 令和5年 4月 26日

令和4年度 東京都私立幼稚園教育推進向上支援事業補助
英語活動 自己評価・学校関係者評価結果報告書

項目	内容
1. 取組内容	鹿浜愛育幼稚園「英語であそぼう」の時間は、ネイティブスピーカーを講師として、全園児、週に1回のレッスンを定期的に行った。歌やゲームなどの活動を通して英語に親しみ、英語を使用し遊ぶことで異文化への興味を促し、他者との協調性、思いやりの心を育むことを図った。
2. 自己評価結果	「A」（十分達成されている） 英語を身近に感じ、聞いて発語することで、楽しみながら英語への興味を促す活動であり、異文化に触れることで興味や関心の幅が広がり、世界を意識する取組を実施した。 「英語であそぼう」の時間で園児が興味を持つようになった内容は、歌やゲーム、会話などがあるが、どの活動も楽しみながら子どもたちの興味関心を自然と引き出し、ねらいに十分沿ったものであったと言える。 普段の生活の場面でも自然と英語講師と英語でやり取りするなどの場面が見られ、本園で行っているネイティブスピーカーによる英語遊びの取り組みが効果的だということがわかる。
3. 学校関係者評価 委員会評価結果	講師による英語遊びの時間は鹿浜愛育幼稚園の教育の特色の一つであり、子どもたちが楽しそうに英語講師とやり取りする姿をみると、取り組みは高く評価したい。 今後ともさらなる幼児教育の充実を図っていただきたい。